



<美和中校区小中一貫学校教育目標> 地域の未来を切り拓く児童生徒の育成

<めざす児童像>

- 夢や未来を語る事ができる児童生徒
- 仲間と共に課題解決に取り組む児童生徒
- 学び続け、創り出すことに喜びを見出すことができる児童生徒

<チャレンジ目標>

美和東小学校 **チャレンジ目標**

美和東小、ABC

A あたりまえのことを
tarimae



マロリン

B びっくりするくらい
ikkuri

C ちゃんとやる
hanto

OJT（オン・ザ・ジョブトレーニング）

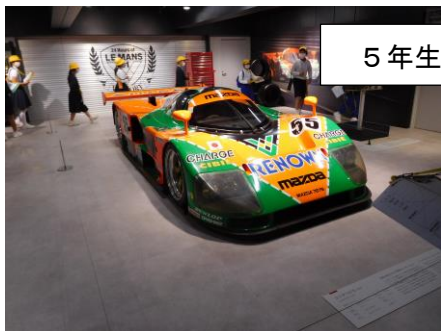
校長 東原 孝

つい先日のこと、人生で初めて体験したことがあります。それは、周防大島の私の実家が営んでいるみかん栽培の、防腐剤散布作業です。昔はかなり広大な面積のみかん畑を管理していましたが、現在は両親も高齢となり、これまで管理していた畑を手放し、現在はほんの数本のみかんの木を残す程度となってしまいました。幼少時代から、両親のみかん栽培に対する熱い思いや、奮闘する姿を見てきましたが、自分が手伝えるのは収穫作業程度でした。収穫に至るまでに、両親は夏の炎天下には害虫駆除の消毒剤散布、除草、摘果、かん水など、かなりの労力と時間を費やしていたのを思い出します。今回両親から、「収穫10日前になったので、果実に防腐剤を散布してほしい。」との依頼を受け、人生初の防腐剤散布作業を試みるようになったのです。大きなタンクに水を注ぎ、薬の調合、エンジンポンプの操作など、専門的な作業は長年培ってきた父親が手際よくやってくれました。ポンプにエンジンがかかり、長いホースの先をもって遠く離れた早生みかんの木にたどり着くと、私の人生初の防腐剤散布の体験が始まりました。「もっと内側から。」「もっとまんべんなく。」母親の指示が飛ぶ。「この程度でどうだろう?」「上等、上等。」約1時間の作業とやりとりが続き、毎年この時期になると、どこに行ってもあたりまえのように目にするみかん。収穫の苦勞しか体験していなかった私は、この歳で防腐剤散布という初めての体験を経て、みかん農家の大変さを改めて感じたのでした。「あと数年後にはこのみかん畑はどうなるのだろう。」そんな危機感を抱き始め、今のうちに両親からみかん栽培のノウハウを少しでも受け継いでおきたい、と思う自分がいました。周防大島伝統のみかん栽培。ここ数年、後継者不足で作業が追いつかず、多くの畑が荒地になっていきます。この世界でも人材育成が急務であり、今回その手段の一つ「OJT」（実践を通して業務スキルを身につけること）の大切さを体験しました。教育の世界も人材育成が急務と言われ続け、たくさんの研修会が行われています。みかんを育てることと同じく、将来の日本を担うたくましい子どもたちの育成のために今後も尽力して参ります。おかげさまで、実り多い2学期も無事終わろうとしています。ご協力に感謝申し上げます。良いお年をお迎えください。



11月のアルバム

11月も好天に恵まれ、いろいろな実りの秋を体験することができました。このような学校での活動の様子は、美和東小学校ホームページの「学校の様子」「教育活動の紹介」にも掲載していますので、ぜひご覧ください。（表面のQRコードからご覧いただけます。）



5年生社会見学



いもほり（1・2年）



玖北音楽会（5・6年）



フラワー大作戦



学習発表会



ものづくり教室（5年）



森林体験（5年）



1月行事予定

9日（月）	成人の日	18日（水）	ALT PTA 常任理事投票〆切
	ノーテレビノーゲームみわ週間	19日（木）	食育巡回訪問 2年
10日（火）	始業式 通学路点検	20日（金）	SC 訪問
	PTA 常任理事投票用紙配布	24日（火）	PTA 常任理事会
11日（水）	委員会活動	25日（水）	ALT
13日（金）	集金日 参観日	26日（木）	薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室（6年）
	書き初め大会	27日（金）	スキー教室（5・6年）
17日（火）	縦割り班遊び	30日（月）	なかよし運動会
	自動車図書館	31日（火）	自動車図書館